

第2回保健科学研究所国際シンポジウム報告

The Second FHS International Conference: Gazing into the Future of Health Sciences in Asia

国際交流専門部会長 山内 太郎

2015年7月3日、保健科学研究所にて第2回国際シンポジウム(The 2nd FHS International Conference: Gazing into the Future of Health Sciences in Asia)を開催いたしました。2013年7月に開催された第1回国際シンポジウムに引き続き、部局間交流協定校であるインドネシアのデポネゴロ大学/Dr.カリアディ病院および台湾の台北医学大学(現在は大学間交流協定を締結しています)、さらに昨年2015年6月に部局間交流協定を締結したタイのチュラロンコン大学、同じく2015年6月に部局間交流協定を締結した台湾の高雄医学大学から計7名の研究者を招待しました。午前9時より昼休みを挟み午後3時まで口頭発表がありました。講演者をご紹介します。デポネゴロ大学/Dr.カリアディ病院からDr. Malia MexitaliaとDr. Agustini Utari、台北医学大学からはDr. Chia-Chin LinとDr. Shu-Huei Kao、高雄医学大学からはDr. Shih-Fen HsiaoとDr. Yu-Sheng Yang、そしてチュラロンコン大学からDr. Anchali Krisanachinda、さらに本研究所から八田達夫教授と神島保教授の9名でした。栄養学、分子生物学、理学・作業療法学、放射線医学、看護学、健康教育、小児科学といった保健科学に関連する広範な領域の研究者が集まりました。

招待講演に続き、今回初の試みとして大学院生によるポスター発表が行われました。台北医学大学の

大学院生による2題を含む33題のポスターが本研究所1階の多目的室に所狭しと張り巡らされました。プロジェクターを用いた、一人1分間の口頭によるポスター紹介(「ショットガン・セッション」)に続いて、一斉にポスター発表が行われました。2時間に及ぶポスターセッションは始終活気に溢れ、大学院生は懸命に英語で自らの研究を海外からの招待研究者に説明し、活発なディスカッションが行われました。

大学院生が海外で開催される国際学会に参加する機会は限られており、本国際シンポジウムは大学院生にとって大変貴重な機会となりました。この経験を今後の研究活動に生かしてもらいたいと期待しています。午後6時からは同会場にて立食パーティーが開かれ、カジュアルな雰囲気の中、海外からの招待研究者、本研究所の教員、大学院生が懇親しました。宴のさなか、ポスター発表の大学院生に贈られる「Best Presentation Award」の発表がありました。受賞者は権池勲さん(M2)、山崎智弘さん(D3)、山村凌大さん(M2)の3名でした。

末筆になりましたが、海外からの招待発表者、座長および発表を引き受けていただいた保健科学研究所の教員の方々、当日および準備にご尽力いただいた国際交流専門部会員および事務の方々、ご挨拶をいただいた保健科学研究所長、そしてのべ140名以上を数えた、シンポジウムに参加いただいた教員、大学院生、学部生のみなさまに感謝申し上げます。

